

ハンガーゼロ(日本国際飢餓対策機構)は、イエス・キリストの精神に基づいて活動する非営利の民間海外協力団体(NGO)です。1981年に誕生して以来、世界の貧困・飢餓問題の解決のために、自立開発協力、教育支援、緊急援助、海外スタッフ派遣、飢餓啓発を行っています。現在は、国際飢餓対策機構連合(Food for the Hungry International Federation)の一員として、20カ国、国内外の80のパートナーと協力し、アジア、アフリカ、中南米の開発途上国で、「ここからだの飢餓」に応える活動をしています。

わたしから始める、世界が変わる

1分間に17人(内12人が子ども)
1日に2万5,000人が
1年間では約1,000万人が
飢えのために生命を失っています

Hunger Zero News

ハンガーゼロ・ニュース



ハンガーゼロ親善大使・紫園 香さんのリサイタルが9月14日(土)に東京の王子ホールで開催されます。チケットは5,000円(全席自由)。ミリオンチケットのWEBサイトやチケットぴあ等で購入できます。ぜひ来てください。

大阪マラソン2025 寄付先団体に

ハンガーゼロは、来年2月24日に開催される第13回「大阪マラソン2025」の寄付先団体(チャリティーパートナー)に同組織委員会より選定されました。3年連続となります。すでにランナー募集が始まる中、今年参加された京牟礼さんが「世界中で飢餓に苦しむ人たちがいることを知ってもらい、1人でも多くの命を救うきっかけになれば」と連続参加を表明してくださいました。チャリティーランナーの応募と支援は同公式サイトから。



フィリピンから 手作りグリーティングカードセット

友人や家族へかわいい手作りカードを送りませんか? フィリピンの女性や若者たちの仕事づくりにつながるカードです。カード2枚でお米1.5kgに相当する収入になります。写真上段3枚がAセット、

写真下段3枚がBセット、それぞれ3枚組を送料込み2,000円でお届けします。

いずれのセットも2セット以上の場合は送料相当額から150円以上割引。

お支払い: 銀行振り込み、または郵便振替の後払い

※送金はキングダムビジネスまで。ハンガーゼロで販売はありません。

お申し込み:
(株)キングダムビジネス
スマートフォンは右のQRコードから
電話注文: 06-6755-4877



【ウクライナ緊急支援募金】

募金は…①郵便振替 ②ホームページからのクレジットカード決済利用の2種類

①郵便振替 00170-9-68590 一般財団法人日本国際飢餓対策機構 「ウクライナ緊急支援」と明記

②ホームページ 募金画面からクレジットカード、コンビニ決済がご利用いただけます。※現地の活動はFacebookでも報告しています。



あなたの祝福を分かち合いませんか
Giving Back
わたしから始める…愛の恩返し

遺贈寄付

顧問弁護士が無償でご相談等お手伝いします

Hunger Zero
東京事務所・近藤 TEL.03-3518-0781

詳しくはお電話でご説明しますのでご連絡をお待ちしています

専門講師(弁護士)による出張個別相談もできます

サポーターお申込み欄 FAX072-920-2155

氏名	フリガナ	姓	名
(TEL)			
住所	〒		
申込日	年	月	日 NL409号

- ※記入後にスマホで撮影し、下記メールアドレスにお送り頂いても受付いたします。
- 下記から希望されるものをお申し込みください
 - ハンガーゼロサポーターとして協力します。
①毎月()円(1000円)
②一時募金として 円協力します。
 - 継続募金(JIFH サポーター)として協力します。
毎月()円(500円)
 - チャイルドサポーター(子ども1人毎月4,000円)の説明書(申込書)を送ってください。
 - 郵便自動引落し申込書を送って下さい。
 - その他の銀行自動引落し申込書を送って下さい。

上の申込書をコピーして、必要事項を記入の上、FAX又は郵送にて大阪事務所までお送りください。確認書類等を送らせていただきます。お電話やウェブサイトでも申し込みできます。

コンゴ民主共和国/活動地訪問 P.4



ハンガーゼロ サポーター 現在...5324人 Child Supporter チャイルドサポーター 現在...1081人

■発行 清家弘久
■発行所 一般財団法人 日本国際飢餓対策機構

Webサイトアドレス <http://www.hungerzero.jp>
eメールアドレス general@jifh.org
フェイスブック facebookでハンガーゼロで検索

■募金方法 ※各種方法で随時受付中、詳しくは電話やウェブサイト
①郵便振替 00170-9-68590 一般財団法人日本国際飢餓対策機構
②他の金融機関からの自動振替③クレジット、デジタルコンビニ

ゆうちょ銀行 VISA LAWSON POINT

大阪 〒581-0032 八尾市弓削町 3-74-1
(広島/沖縄) TEL (072)920-2225 FAX (072)920-2155
東京 〒101-0062 千代田区神田駿河台2-1 OCCビル517号室
(東北) TEL (03)3518-0781 FAX (03)3518-0782
愛知 〒460-0004 名古屋市中区新栄町 2-3 YWCAビル6F
TEL (052)265-7101 FAX (052)265-7132
USA Ainote International c/o Mr. Takehiko Fujikawa
TEL (510)568-4939 FAX (510)568-4939
jifh.ainote@gmail.com HP <https://ainote.org>

アメリカ合衆国の方はHP又QRからお申込下さい。クレジット決済が可能になりました。

●Vポイントを利用して「南スーダン・マブイ小学校給食支援」ができます。現在までに1,751,247ポイント(円)のご協力(25,927件)がありました。

【本紙の送付についてのお問合せは】左記eメールアドレス、Webサイトのお問い合わせ、または大阪事務所までご連絡ください。

Hunger Zero News 今月号の内容	
2024世界食料デーの開催概要	P.2
トルコ地震緊急支援インタビュー	P.3
ジェロムスタッフ活動地レポート コンゴ民主共和国	P.4-5
チャイルドサポーター報告	P.6
ニジュール緊急支援の計画ほか	P.7

2024世界食料デー わたしから始める、愛のChain Reaction

9月～11月 全国各地で世界食料デー大会や支援集会、イベント開催



今年のポスターができました

募金目標：2,000万円
今年度支援を予定している国々での活動に使わせていただきます

この世界では、貧困が貧困を、憎しみが憎しみを、争いが争いを生むという「負の連鎖」が起こってしまっています。この連鎖を断ち切るために、一人一人の愛ある行動から始まる「愛の連鎖」が必要です。世界の飢餓貧困で苦しむ方々に目を向け関心を持つこと、募金をすること、周りの人に世界の現状を伝えること…そんな小さく思える一歩が、周りにも影響を与え、連鎖のようにして広がっていくと私たちは考えます。負の連鎖ではなく、愛の連鎖を、ハンガーゼロと一緒に起こしましょう!!

今年はこのテーマに沿って、小学生から大人まで学べるクイズ形式の小冊子や、各種動画（テーマ動画、講演動画など）を用意しています。ご希望の方はハンガーゼロ東京事務所(03-3518-0781 jifhtokyo@gmail.com)までご連絡ください。

また今年も多くの方々のご協力により、北海道から沖縄まで全国10以上の地域で、世界食料デー大会やイベントが行われます。詳しくは9月号・10月号にてご案内します。ぜひお近くの大会にご参加ください。



2023東大阪大会



楽しく世界を学べるクイズブック

食料デーキャンペーンで支援の輪を広げよう!

SNS キャンペーン #ハンガーゼロな暮らし

世界の食料問題の解決のために、みなさんが取り組んでおられるアクションを多くの方々に拡散しませんか。

「#ハンガーゼロな暮らし」をつけて、各種 SNS にて投稿をお待ちしております!

※取り組み例：食べ残しゼロチャレンジ、フェアトレード商品買ってみた、家庭菜園等

友だち紹介キャンペーン

既にハンガーゼロを支援してくださっているみなさんへ…支援の輪をご友人につなげてくださいませんか。紹介して下さった方、紹介を受けて初めてハンガーゼロに募金して下さった方の両方に、素敵なプレゼント(写真⑥)をお送りします!

対象：紹介者と紹介を受けて初めて募金して下さった方
期間：2024年7月～12月

【友だち紹介キャンペーン応募方法】

初めて募金をして下さる方より、紹介者の情報 ①氏名 ②ご所属(企業名・学校名・教会名など) ③住所の市町村をご連絡ください。(例：◎◎県△市の○○さんからの紹介、●●教会の☆☆先生からの紹介)

郵便振替の場合は通信欄(払込取扱票の余白部分)、クレジット・コンビニ払いの場合にはホームページの備考欄、それ以外の場合には電話・メール・HP等を通して、上記①～③の情報のご連絡(ご記載)をお願いします。

※プレゼントは入金確認後に発送いたします。クレジットの場合には入金確認等のため発送まで2～3ヵ月かかる場合がございます。ご了承ください。



スマホからも見てね

Hunger Zero トルコ地震緊急支援

ハンガーゼロは、2023年2月にトルコ南東部(及びシリア)を中心に発生した地震の被災者緊急支援を海外パートナーの韓国飢餓対策機構(KFHI)と実施。皆様からの募金で①緊急支援チーム派遣②物資の配布(食料、生活用品、パンの缶詰)③家族用避難テントの提供④募金活動(支援チャリティ企画も含む)⑤森祐理親善大使の現地慰問⑥幼稚園建設(サマnder地区)などを行いました。これらの活動は、KFHIと共に被災地のキリスト教会と連携、特に政府の支援が届いていない地域の人々のために行いました。このほど協力者のパク・ジョウアン氏(牧師)が来日されたので支援活動について伺いました。なおパク氏は、元KFHIのスタッフであり、ハンガーゼロ緊急支援班の申スタッフの同僚(当時)でした。



申スタッフとパク氏⑥

厳しい現実の中で懸命に生きるシリア難民の人々

Q 支援に入られた経緯は

地震直後から母国の韓国から団体が入って来たり、支援金が送られてきたりしました。そこで被災状況を確認する中で、貧困層やクルド民族、シリア難民らが居住する地域が発災後1週間経っても政府からなんら支援がなされていないことを知りました。特にサマnder地区は大きな被害が出ているにも関わらず、シリア難民居住区に対する政府の動きは鈍く、また外国からの支援も入らない厳しい状況になっていました。

Q サマnderでのテント配布について

現地に入って持参した緊急物資を配りながら、最初に家族用の大型テントを配布することにしました。テントはイスタンブールにある韓国系企業を通じて工場に発注しました。ハンガーゼロからも資金協力をいただき、日本から来た緊急支援チームの方々と一緒にテント設置を行いました。サマnderではようやく仮設住宅も出来つつあるのですが、



2023年3月にサマnder地区でのテント配布活動、後列右端にパク氏

多くの人々はそこに入らず避難所かテント生活を続けています。仮設住宅に入ると元の居住区から遠くなり、人とのつながりが薄れる不安がある上、農業や家畜の世話ができなくなるので、とにかく地震で壊れた家を少しでも修繕してそこの生活を維持することを希望されています。

Q 今年5月にハンガーゼロの支援でサマnderに幼稚園が開設されましたね

サマnderでの支援活動を通じて地域の人々との関係が広がる中で「とにかく幼稚園が必要です」との切実な要望がありました。小学校や中学校も校舎が倒壊しています。それで生徒たちを市役所や政府施設のスペースを使い2部に分けて授業を行っています。しかし、幼児向けまで手を広げる余裕がありませんでした。ハンガーゼロの支援で建てられた幼稚園には今80名位の園児が来ており、これからさらに40名位の園児たちも加わると聞いています。運営は行政が担当、教師たちはトルコ人(公務員)が担っています。



幼稚園開所式コンサート

Q 森祐理親善大使の慰問コンサートはどうでしたか

地震から1年以上が経過する中で、なお厳しい現実と直面している被災者にとって森祐理さんの歌とお話は大変励ましになったようです。サマnder幼稚園の開所式後や仮設のキリスト教会で開催されたコンサートにはたくさんの方々が集まり、皆さんとても喜んでおられました。

備蓄をしながら社会貢献



世界にパンを届けよう



皆様から回収された救缶鳥は各地に飛んでいきました!

食料が不足している、国内外の豪雨・地震等の災害被災地や、海外の飢餓地域等へ送られました。



おいしさとお届けします。

株式会社パン・アキモト

パンの缶詰 since 1995

〒329-3147 栃木県那須塩原市東小屋295-4
TEL 0287-65-3351

パン・アキモト 検索



コンゴ民主共和国

カレミ地域

報告／HOLC代表 ジェロム・カセバ

平和を実現するための試み



ジェロムスタッフ



カレミのルファンクウェ村の農夫たち (右端はバントゥー族の村長さん)

2024年5月～6月にルワンダ、ブルンジ、コンゴ民主共和国を訪れた報告をさせていただきます。

アフリカ大陸は、希少金属、コバルト、銅やダイヤモンドなどの貴重な資源と自然の美しさに恵まれています。しかしそこには貧困、汚職、政情不安、飢餓、継続的な紛争があります。このような可能性を秘めた大陸が、人間の貪欲さ、利己主義、誤った考え方によって開発と産業で遅れをとっているのです。

しかし、私は今回コンゴのカレミという地域で行われている取り組みに大きな希望を見出しました。それは、対立していた二つの部族が共に農作業を通して平和の取り組みを行なっているからです。この取り組みが一つの大きなモデルとなり他の地域に影響を及ぼすことを期待しています。

部族間対立から共存と協力への道へ

5年前の2019年、HOLC (ハンズ・オブ・ラブ・コンゴ) はカレミ地域、具体的にはルファンクウェ村で、対立する2つの部族、バントゥー族とピグミー族の間の和解のプログラムを始めました。これらの部族の間には以前から、天然資源、政治、土地の支配をめぐる激しい対立がありま

す。しかし私たちが活動してきた村でこの2つの部族が、平和が開発と共生に不可欠であることを認識し、お互いを許し、和解と平和作りを始めました。お互いを許すことが、次の世代の未来の基盤を築いていくことを確信したのです。

彼らのコミュニティ農場での5年間の共存と協力を目の当たりにし、HOLCはカレミでの活動の第1段階の大成功を基に「スペースフォーピース」と呼ばれる、和解プログラムの次の段階を進めていくことにしました。

許しと和解に焦点を当てた最初の段階に続き、私たちの現在の目標は、地域をコミュニティ間や部族間の紛争のない「平和の空間」に変えていくことです。この変革は私たちだけでできることではなく、コミュニティ全体すなわち各メンバーの努力が必要となります。これを通して神が定めた尊厳ある生活を取り戻すために不可欠な、安全と安心を人々が手にできるように支援することを目指しています。

「スペースフォーピース」

この和解プログラムは、民族間の対立が暴力にエスカレートする前に管理し防止するように設計されています。これは、和解に向けた私たちの取り組みにおける重要な一歩です。

新しいグループ「スペースフォーピース」(平和づくりのためのグループ)にに取り組む能力を身につけるトレーニングに参加するために、各村は3～5人の代表団を派遣しました。平和的共存に関する議論では、同じ社会グループと異なる社会グループのメンバーが定期的に情報を共有し対話をする中で、関係を維持し紛争や緊張を防ぐことに重点が置かれました。そして2つのコミュニティのメンバー

平和的共存に関するミーティング (ルファンクウェ村)



スペースフォーピースのトレーニング (講師はHOLCのスタッフ)



と一緒に暮らし平和的に共存するために、この新しい生活状況から生じる緊張を回避するにはどうすればいいかを考えました。

平和実現のためのメッセージ

和解についての会議の後、さまざまな村からの参加者と代表者たちが、紛争を防ぎ平和で暴力のない環境を育むために重要と思われるメッセージを作成しました。

- 性別や民族に関係なく手を携えて協力し、発展に不可欠な平和を追求しましょう。
- 平和は選択であり、安全はすべての人の責任です。暴力に直結する紛争を防ぐために行動しましょう。
- 暴力につながる部族主義、排除、コミュニティ間の紛争を拒否します。永続的な平和、社会的結束、人間の尊厳の尊重のために協力しましょう。
- 憎しみに満ちた暴力的な発言をやめ、現在および将来の世代のためにより良い未来を創りましょう。
- 私たちのコミュニティの多様性は私たちの豊かさの強さです。それをすべての人のために平和的に維持する方法を考えましょう。
- 部族の違いや利害にかかわらず私たちは団結しなければなりません。お互いを受け入れ非暴力を推進しましょう。
- 私たちの村の避難民は私たちの兄弟姉妹です。彼らは祖国の治安状況により家を追われて逃げざるを得ませんでした。彼らは逃げる途中で食料、家畜その他の所有物をすべて失いました。彼らを受け入れもてなし、彼らの社会への統合を促進するために働きましょう。共に暮らすことが彼らの苦しみを和らげ、士気を高める唯一の方法です。

カトロイディ村での農業プログラム (2つの部族が参加)



これらのメッセージを共有し議論した後、私たちは「スペースフォーピース」という概念を確認しました。これによって、すべての受益者が満足する和解プログラム「スペースフォーピース」の新しい段階を確立するという目的を達成しました。

持続可能な平和のための対話と平和が存在する、暴力のない環境での生活 (スワヒリ語で FASI YA AMANI) に向けて、彼らを導くファシリテーターのチームが結成されました。対話と早期警告メカニズムの欠如が、これらの村の問題と紛争の根本的な原因であることが明らかになったので、この新しい段階の進捗状況を監視するために、「スペースフォーピース活動監視フォーム」が参加者に配布されました。このフォームにより、現場でのプログラムを監視、評価できるようになります。ファシリテーターは、問題の記録、受け取った問題の数、スペースフォーピースのグループで議論が行われたかどうか、問題がどのように解決されたかなどをこのフォームに記入します。これらのファシリテーターの活動は、それぞれの村のメンバーが平和づくりのためのグループ「スペースフォーピース」の概念を理解し、紛争が暴力的になるのを防ぐのに役立つことでしょう。

コンゴ民主共和国での取り組みを支えるために、引き続きハンガーゼロサポーターとなって応援をお願いいたします。



OKUDA DESIGN PROJECT.

貸したい時も、借りたい時も。不動産賃貸のご相談は—

株式会社
Okuda
株式会社
Okudaコーポレーション
〒197-0003
東京都福生市熊川4-47-9
042(552)0102
インターネットでお部屋探し https://okuda-re.co.jp



高知ベンテコステ教会隣接のクリニック

医療法人オリーブ
大川内科
循環器内科・内科・老年内科
院長 大川 真理

カンボジア [バンミア地区]

**バンネッ バツ君 (中学生)
ぼくも家族も変わりました!**



バンネッ君は村の中学校に通う14歳の男の子です。両親と一緒に小さな家に暮らしています。以前は彼の家庭では貧困と不衛生により、子どもたちは頻繁に病気に悩まされ、就学にも悪影響がありました。FHの活動に参加してから、信じられないほどの多くの良い変化がありました。彼の家族が住むバンミア地区は、住民の多くが農業に従事しています。土地が豊かではないため、多くのお金を投資しても農家が得られる利益はわずかです。一方、農産物を適正な価格で売る市場がなく安値で売らなければならないため、貧困で苦しむ人々が多くいます。

● FHの活動に参加する前

バンネッ君の母親は以前の生活について、「十分な食料もなく、子どもたちに教育を受けさせる余裕もありませんでした。健康や衛生の知識も不十分だったため、子どもたちがよく病気(発熱、デング熱、下痢など)にかかっていました」と述べています。劣悪な生活環境、健康問題、衛生問題、高額な医療費に苦しみながら、不安、不眠、子どもの就学についての心配が常にあり、夫婦喧嘩が多くなり家族の絆は希薄になっていました。

● FHの活動に参加してから

母親は、地域がFHの活動に参加してから、めざましく

変化するのを目の当たりにしました。「FHを通じて家族の生活が改善され、その結果、健康状態が良くなり、病気も減り、農業技術の知識が増えた家族もいます。また学校に通わせる親の数も増えました。特に、地域の改善を目的とした活動に参加することで、地域全体が互いに強い絆で結ばれるようになりました」。

バンネッ君の家庭内でも、安全な水やより健康的な環境、家族内のコミュニケーションの改善、そして子どもたちが学校に続けて通い、成績が向上したことなど、多くの良い変化を実感しています。バンネッ君は次のように話しています。

「FHの活動に参加して、地域の他の子どもたちと上手にコミュニケーションを取ることが出来るようになりました。

衛生習慣を守り、きれいな水を使うことの大切さに気がきました。子どもクラブや、衛生に関する講習会に参加したり、サポーターさんにクリスマスカード、手紙の返事、成長記録の手紙を書いたりするなどの活動にも参加しています。母もFHの活動に参加していて、ボランティアをしています。両親はぼくの勉強の目標に関心を示してくれていて、もっと努力するように励ましてくれていますし、大学進学費用の資金計画も立ててくれています」。

教職に就いて家族と社会に貢献したい

バンネッ君は将来について希望をもって次のように話してくれました。

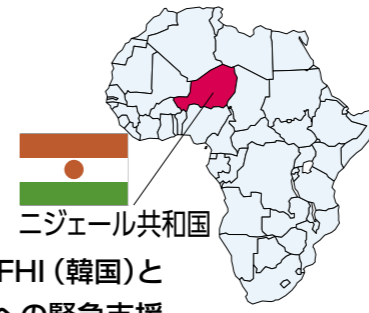
「新しい知識とやる気を与え、ぼくと家族に変化をもたらしてくれたFHにとっても感謝しています。学校を卒業したら、教職に就きたいと思っています。そして家族を支え、教育を通じて地域の未来のために若者に力を与えたいです」。

FH= 国際飢餓対策機構



バンネッ君は昨年の「国際大賞」を受賞しました

ニジェール 緊急支援



ニジェール共和国

ハンガーゼロはKFHI(韓国)と共同でニジェールへの緊急支援を計画しています。

昨今はガザや北朝鮮のニュースでも「飢餓」という言葉が頻繁に出てくるようになりました。一方でハンガーゼロが支援を続けているニジェールを含む西アフリカで起きている継続的な紛争や課題は日本ではあまりニュースにもなりません。

ニジェール西部に位置し、ベナン、ブルキナファソ、マリと国境を接するティラベリ州は、度重なるテロ攻撃を受け2017年から緊急事態宣言が出されていますが、先日の攻撃により355以上の家族が家を追われ、家財を無くして国

内避難民となっています。首都のニアメから約85kmのところにあるトロディという村では、食料、水、医薬品、避難所など生きていくために不可欠なものさえ手に入らない大変深刻な状態です。助けが1日遅れるごとに子ども、女性、高齢者を含む何千という人々の命が危険に晒されていきます。この人道危機を回避するため、以下の緊急援助活動を予定しています。

- 避難している方々のための避難所の設営
- 飲料水と食料の配給
- 緊急の医療活動
- 感染症予防のための保健衛生キット

1家族につき、25kgの米1袋、調理油5リットル、豆10杯、石鹼10個を含む食料・飲料水支援を予定しています。この量は1ヵ月分に当たり約US\$70が必要です。355家族を対象に、1ヵ月分約US\$25,000となります。支援期間は3~6ヵ月を予定しています。



Hunger Zero インターンシップ

正木アンナさん 東京基督教大学3年生

ハンガーゼロでは、毎朝聖書を読んで一日を始めます。今回、2週間という短い研修期間でしたが実に多くの事を学ばせて頂きました。大阪事務所に着いた日から最後の日まで、スタッフの方々が自分の担当している業務に実践的に関わられるようにスケジュールを組んでくださったからです。チャイルドサポートでの事務作業では実際に支援地域の子どもたち



からの手紙に触れ、大阪市西成区でのホームレス支援、HZコミュニティ会議の参加、難波での教会訪問、アフリカでの働きについての報告

会など、沢山の貴重な経験をさせて頂きました。

一人一人が世界の現実に目を向けること

スタッフの皆さんが支援を必要とする地域の為に自分たちが出来る最大限の事をし、知恵を求めながら懸命に働いている姿を実際に目にした時に、この働きは神さまの働きであると実感しました。初日に清家理事長から受けた「聖書を通して見る飢餓問題」について、神様は私たち一人一人が世界の現実に目を向ける事を願っておられると知りました。他の誰かではなく、「わたし」から始める、世界が変わる。インターンシップを通してこれを実感し、この団体の働きの意義を学びました。迎え入れて下さった大阪事務所の皆さんと神さまに感謝です。



Child Supporter
チャイルドサポーター

子どもを支援する

支援地域の特定の子どものつながり、地域で行われる活動をご支援いただけます。あなたと出会い、応援を受ける子どもは自分が愛される大切な存在であることに希望を抱き、地域を変えるひとりへと成長していきます。

月々4,000円
子ども1人を支援することができます。

2つの支援方法

活動を支援する

子どもたちが暮らす地域で行われる様々な活動をご支援いただけます。地域に住む人々がそれぞれの役割を果たし、子どもを取り巻く環境の改善と質の向上を目指します。

1,000円~
月々または自由なタイミングで支援できます。

あかしらサポート

ウェブサイトからお申し込みできます

お電話での問い合わせはCS事務局へ 直通TEL072-920-2226



ロングライフタウン寝屋川公園 フィレンツェの丘

私たちロングライフグループは、ハンガーゼロの活動を応援しています。

ロングライフは1986年の創業よりケアサービスひと筋。全国に展開しています。

Health & Natural Beauty **ロングライフグループ** Resort & LongLife

0120-550-294

受付時間 9:00~18:00 年中無休

大阪本社 / 〒530-0015 大阪市北区中崎西2-4-12 梅田センタービル25階 東京本社 / 〒100-0004 東京都千代田区大手町1-6-1 大手町ビル9階
ロングライフグループ拠点: 北海道/埼玉/東京/神奈川/千葉/静岡/愛知/大阪/兵庫/京都/大分/沖縄/中国(青島)/韓国/インドネシア(ジャカルタ)